

第3回 コンクリート工学年次大会'02（つくば）実行委員会 電子化部会 議事録（抜粋）

日 時：2001年5月9日（水）17:30～21:40

場 所：J C I 事務局会議室

出席者：丸山部会長，中村幹事，内田，柄，二村，日比野，森，柳井の各委員
野口講演部会長，田才査読委員会委員，
宇野，宮嶋（事務局），
小林ほか3名（開発計算センター）

配布資料：

3-1 議事次第

3-2 ヒアリング議事録（中村）

3-3 コンクリート工学年次論文集 CD-ROM 版 打合せメモ（日比野）

3-4 CD-ROM 論文集に関する打合せ（KCC）

3-5 2001 札幌大会における「論文電子化の広報活動」について（柳井）

3-5 広報 WG 資料 北大 千歩先生よりの FAX（日比野）

3-6 2001 札幌大会 参加者のしおり（事務局）

議 事：

1. 申込み関連事項

（1）投稿申込み

- ・投稿申込みは原則電子化する。受付開始：10月15日
- ・申込み用紙を会誌に添付しない。入力 of インストラクションを会誌に掲載する。8月までに作成。
- ・つくば大会では100字概要は入力する。今後キーワードだけで査読作業が充分であれば廃止する。
- ・キーワード集の制作は講演部会と共同で行う。

（2）参加申込み

- ・参加申込みは原則として現金書留とする。
- ・HP 上の入力フォームに必要な事項を入力し，確認画面もしくは返信メールを印刷して参加費に同封する。
- ・参加費の内訳は経理 WG で素案を作成する。

（3）印刷版論文集の予約

- ・印刷版論文集は予約販売とする。
- ・予約申込みは参加申込みと同様
- ・予約締切りの時期を決めなければならない。

2. 査読関連事項

- ・5年間で査読システムを構築する。
- ・査読用原稿は紙面で提出し，内部および外部査読者には紙面原稿が届く。
- ・外部査読者からの査読結果（採否，修正事項，査読意見）は電子情報（メールもしくはデータベースへの書きこみ）で内部査読者に届く。できればつくば大会で運用したい。
- ・「本文中に朱書き」を原則なくす。
- ・PDF ファイルへ変換するときの体裁の変化は著者が自らチェックするように執筆要領で厳重に注意する。
- ・web 版執筆要領を作成する。原稿テンプレートを準備する。
- ・以上を査読委員会で検討。

3. CD-ROM 版論文集

- ・開発計算センターより簡易版検索システムのデモンストレーションが行われた。
- ・トップページの表示はオートラン。

- ・ドライブ選択は使用プログラムの仕様上必須．←メニュー式に改善要求
- ・検索結果の表示方法を変更する．
- ・データベースの項目は査読作業およびプログラム編成作業を考慮して決める．
- ・データベース中の項目で投稿者に関する事項は入力フォームに取り入れる．
- ・ヘッダおよびフッタの処理は自動処理が可能．
- ・タイトルは著者が標記したものをそのまま使用する．→査読委員会で検討（執筆要領）
- ・OSが変わることによる文字化け体裁の変化をヘッダ・フッタの処理後に点検する．
- ・点検作業が約2ヶ月必要なので逆算すると査読作業がクリティカルとなる．

4. 広報活動について

- ・柳井委員から札幌での広報活動の説明があり、概ね了承され、さらに検討願うこととした。
- ・札幌では、懇親会・閉会式で山本実行委員長から電子化の説明をしてもらうこととした。依頼は丸山部会長が行う。

5. その他

- ・森委員が執筆要領作成を担当することになった。
- ・全体のタイムスケジュールを二村委員が作成し、各委員に送付することとした。
- ・電子化作業は10月の申し込み開始のため、7月末までに完成させる必要がある。

それまでに部会を以下の予定で行うこととした。

5月29日（火）17：30～

6月26日（火）17：30～

作業の関係上5月29日の部会までに、一通りのたたき台の案を用意することとした。

それまでに各WGあるいは開発計算センターとの打ち合わせが必要な場合は、随時行ってよい。

以上